



えんがく
便り

神頼み

神無月、八百万の神々は出雲にお出かけでおいでにならない。ただ一人、恵比寿様だけは留守居でいるもののお願いです。頼みも招きもしないが、最終的に私を訪れるのは死神だ。何れお受けしなければならぬのだから、今しばしお待ちいただきたいと思う。(名華女)

神様〜！ 若い先短い私に最後に一度だけ、ときめく機会をお与えください。最後にときめいたのはもう何年も前の韓国のおさん…不整脈とは違うドキドキを最後にもう一度感じてみたいのです。よろしくお願います。(すみちゃん)

還暦を過ぎた私の友人が真顔で「私、恋がしたい」と言った。友だちに言っても笑い飛ばされるか話を流されるらしい。大事な友だから何とか手を貸したいと思う。でも、それは神さまにお願いするしかないわ。(じばば)

震災後に訪れた東北の地で、木の板に願い事を書いて奉納する、ということを知



No.46



△ハモン博士のまとめ

日本人は、宗教に縛られることがあまりない方であり、その上、神社やお寺を訪れお参りし、クリスマスを祝う不思議な風習がある。柔軟な考え方が根付いておるんじゃないか。そのおかげで宗教の違いによる争いが起こることも少ない。神様はたくさんおられるが、争いを好む神様はいないはずじゃ。困ったときお願いするくらいの方が忙しくなくて神様も喜んでくださるんじゃないか。



問合せ先

おおくち男女共同参画懇話会 (地域協働課)

☎ 95-1691

苦しいときの神頼み。困った時は神様にお願するしかないということかと思っていたら、どっこい、普段信心がないくせに困った時だけあてにするとは身勝手な！ ということだそう。何事も普段からの姿勢が重要なのです。(俺)

やってる場所があった。私が書いた願い事は私利私欲…。しかし、ふと目にした他の人が書いた願い事は「世界平和」とか「震災が起こりませんように」とかい類のものが多かった。己の浅ましさを神様に笑われたような気がした苦しい思い出。(チャーミー)

Be Ambitious

vol.304

町内にお住まいの
20代の皆さんがリレーで登場！

セブ島で支援活動

宮田 未稀さん (下小口) H10・6・5生



学生国際協力NGO

FEST TOKYOに所属

大学のモチベーションを保つ事も大切です。今は引退を控え報告会の準備を進めながら、今後どのような道に進むかを模索中ですが、国際協力には携わってみたいです。

広報活動でのカメラが趣味に

大学の国際協力について学んでいますが、実際に現場で経験を積みたくて、学生NGO団体に所属し活動しています。普段は週に1、2度集まり、年に2回の渡航に向けた話し合いをしています。現地では、支援地域を決めるために視察をしたり、現地住民のニーズを調査します。一時的な支援で終わらせず、地域住民の力で生活向上していくシステム作りを、現地の方と対話をしながら進めていきます。この夏の渡航では、ヴィラ地域で排水溝プロジェクトに関わりました。

団体の活動をSNSで発信する為にカメラを購入してから、写真や動画を撮る事が楽しくなっていきます。特に動画の編集をしている時は無心になれるので、ストレス発散になります。フィルムカメラの色合いや雰囲気も味いがあります。少しでもみんなの目に留まるように、写真や動画編集を工夫する事が私の楽しみにもなっています。

昨年からは運営する立場になり、組織を動かす事の大変さを実感。ハードな活動なのでメン



▲支援地域の住民との
ミーティング